

# あのとぎの常呂・写真館

VOL 79

(1964年)

## 昭和39年7月7日 常呂川汚水防止対策漁民大会

- ▶ 常呂川の水質汚染に関して、昭和39年、40年の2回にわたって大規模な漁民大会が開催されました。「あのとぎの常呂・写真館」では、2回に分けてこのときの状況と問題解決の経過を紹介します。
- ▶ 昭和39年の大会をようすを「広報ところ」から抜粋します。  
7月7日、常呂川の汚染は我々漁民の死活問題だとして、漁業者約350人が中央公民館に集まり、「常呂川汚水防止対策漁民大会」が開かれました。この日、午前11時、花火を合図に日の丸の鉢巻きをした漁民や漁業関係者が手に手にプラカードや大漁旗を掲げながら、軍艦マーチも勇ましく。プラカードや大漁旗を掲げながら広報車を先頭に氣勢を上げながら魚組から中央公民館までデモ行進をし、全員が会場に詰めかけて大会が始まりました。



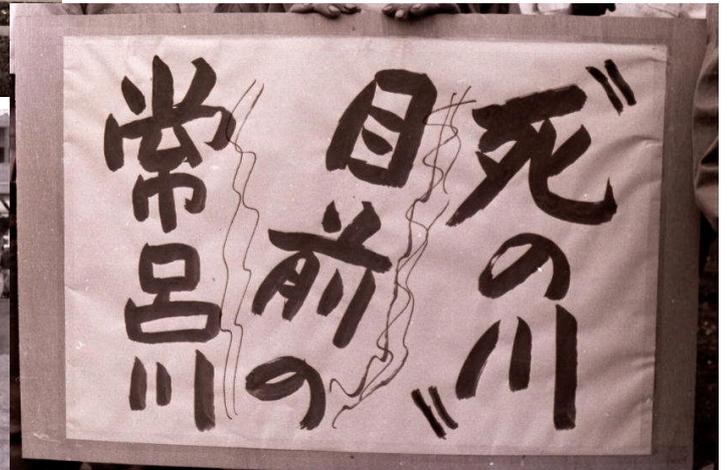
大会は怒りの中にも冷静、そして真剣に対策が協議され、結局、損害賠償と浄化設備完備を即時要求するとともに、今後も沿岸地帯を汚染する恐れのある工場の建設には絶対反対するなど、3項目にわたる決議文を作り、大会終了後約130名がバスを連ねて北見市に向かい、関係ある会社や諸機関に対し、強く要求をしました。





▶決議文は次の通りです。

1. 北見市におけるビート、澱粉、ガス、下水は言うに及ばず、特に汚染度の甚だしいパルプの廃液によりこうむった漁業被害の賠償額を即時要求する。
2. 常呂川の水質基準の決定にかかわらず、各工場等は被害漁民の納得する浄化施設を即時完備することを要求する。
3. 紋別市に誘致されようとしている北見パルプ工場建設については、従来の既設工場の前例に徴し、常呂・佐呂間・湧別・紋別の沿岸一帯を一層汚染する恐れがあるので建設に絶対反対する。



\*昭和44年3月発行の『常呂町史』は、この問題について、編集作業が間に合わなかったのか「広報ところ」の記事をそのまま掲載し、その後の経過には触れていません。

